

環境政策技術マネジメントコース

Graduate Course in Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions

コース主任
教授 石田 秀輝
Professor
Emile H. Ishida



SEMSaT (Graduate Course in Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions) is a course for Masters Degree and Doctoral Degree that started in October, 2005 aims at fostering generalists who can manage the environmental strategies and policymaking at private sectors and administrations. (Adopted as five years project by the JST in 2005) In five years, 36 master course students and 5 doctoral course students have completed their studies. And PO (Program Officer) acknowledgment was given to six students who particularly had higher level of practical ability.

The graduate is taking an active part in various areas of the enterprise and the administrative body. This course got A evaluation in the JST interim evaluation, to advance the improvement of the program afterwards, and to achieve the end goal. It is decided to continue this course based on the necessity of environmental talent though this course is a program of five-year plan, and it ends once in March, 2010 and starts newly from April 2010.

概要

本ユニットは平成17年10月より開講した経営戦略の策定、環境政策・施策の立案を行うスキルを有し、鳥瞰的な視野で指導的な役割を果たす即実践型環境マネジメント人材の養成を目的とした、修士課程及び博士課程のコースである（平成17年度採択科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラム）。これまでの5年間で修士課程36名が修了し、博士課程の5名が修了している。また、環境PO(Program Officer)として、これまでに6名を認定した。修了生は、企業及び行政機関の様々な領域で活躍している。本ユニットはJST中間評価でA評価を頂き、その後、プログラムの改善を進め、最終目標を達成できた。本ユニットは5年計画のプログラムであり、一旦、平成22年3月に終了したが、環境人材の必要性を踏まえ、文部科学省の特別教育研究経費の支援により、本研究科において人材養成を継続し、引き続き、主に社会人を対象に即実践型環境マネジメント人材の養成を行い、持続可能な社会の実現に向けて貢献したい。



Course Guidance

教育方法

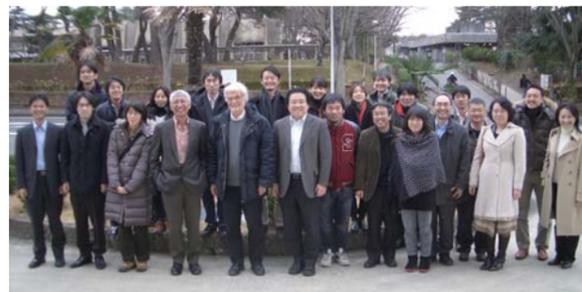
本ユニットではeラーニングと年間5回程度（10日間）の集中講義により時間的、空間的制約を排除した上で必要な知識を習得し、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）/PSS（プロジェクト・フォー・システム・ソリューションズ）トレーニングに

より実践的ソリューション提案スキルを磨いている。PSSのアドバイザーとして、大学内の教員だけでなく、社会人の修了生を含め、効果的な指導体制を整備している。

本ユニットのHP（www.semsat.jp）を改築し、学生が過去のOJT及びVPPPレポート等の環境に関する資料を検索できるようにデータベースを構築し、5年間の知識の集積を活用できる体制を整えた。

また本年度より3年間の予定で、環境省『環境人材育成のための大学教育プログラム開発』を受託し、学外有識者を委員に迎え、より効果的なカリキュラム醸成の検討を開始した。

これらの教育経験をもとに、環境省人材育成コンソーシアム準備委員会では、委員(座長およびワーキング委員)として、「攻めの環境経営のためのグリーンMBA/MOT等構築事業」にも参画している。



Group photo with Prof. Ezio Manzini, Eco-design

カリキュラム改善

平成22年4月より、従来のユニットからコースとしての運用を開始、環境学創出を加速させるためにカリキュラムの一部を改編した。具体的にはサステイナブル経済・政策論、ソリューション論が新設された。また本年度から東京分室での講座を増やしている。さらには環境マネジメントセミナー、環境・資源経済学ワークショップなど広く門戸を開放したシリーズの講座も4月から開講している。



コース副主任
准教授 古川 柳蔵
Associate Professor
Ryuzo Furukawa



特任教授
多田 博之
Specially Appointed Professor
Hiroyuki Tada



助手
枝村 一磨
Assistant
Kazuma Edamura



助手
武田浩太郎
Assistant
Kotaro Takeda



アシスタント
久保 美穂
Assistant
Miho Kubo



Exhibition at National Science Museum



EcoProducts Tohoku2010



SEMSaT Short Course

広報・情報収集活動

5月16日にメトロポリタンホテルにて環境リーダー教育シンポジウムを行い、新生SEMSaTのお披露目を、キーパーソンを招待して行い、成功裏に終えることができた。また従来からの継続プログラムとして、第8回SEMSaTセミナーとして、求道会館に場所文化フォーラム代表理事の吉澤保幸氏を迎え、お金から考える地球環境問題と題し、グローバル金融の中での環境問題をディスカッションした。第9回SEMSaTセミナーは、詩人・作家である丹治富美子氏を迎え、いにしえに学ぶあたららしい暮らし方について対談を行った。

その他パンフレットのリニューアル、冊子の新規作成、HPリニューアルなども行い、より一層広報・情報収集活動に力を入れた。

社会貢献

2009年2月に本ユニットの修了生を主体として、NPO法人サステナブル・ソリューションズ～小さな渦を育てる社～が設立された。本年度は本ユニットのVPPの成果の実践、また社会に対して提言する組織として活動し、エコプロダクツ東北へも出展した。また、日本型の生活文化を残しながらも急速な環境劣化を迎えつつある沖永良部島でシンポジウムを開催し、生活と産業のかかわりについて意見交換を行った。

11月からは上野国立科学博物館で2011年2月まで、「ネイチャー・テクノロジーとライフスタイル展」を開催し、自然に学ぶモノづくりの様々なあり方を紹介している。



Okinoerabu symposium 2010



Environmental Leader Education Symposium

Activities in 2010

8th SEMSaT Seminar, Kyudo Kaikan, January 20th, 2010
9th SEMSaT Seminar, Kyudo Kaikan, July 6th, 2010
Okinoerabu Symposium, Floral Hotel, Aug 4th, 2010
1st SEMSaT Short course, June 10th, Tohoku Univ Tokyo office,
2nd SEMSaT Short course, Dec 22th, Tohoku Univ Tokyo office, 2010